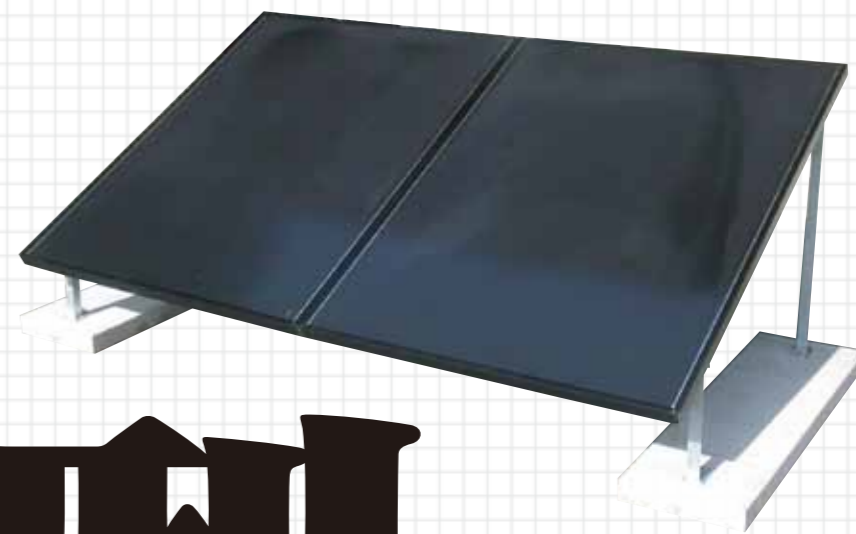


FRD SOLAR SYSTEM

変形地対応・自由設計



省コスト型 ハイブリット FRD 架台

フィールド開発株式会社
TEL.028-902-8670

〒320-0835 栃木県宇都宮市宮原5丁目2番1号
FAX.028-902-8671

効率追求から得た結論、 それは徹底した最適化。

トータルに収益性を追求

休眠資産の有効活用に最適なシンプル&省力化を究めたハイブリッド基礎・小ユニット設計。太陽光発電の事業化に最適です。

ハイブリッド基礎による小ユニットだから、 圧倒的省コスト&短工期。

全方位省コスト

架台単体のコストはもちろん、造成・搬入・設置・維持管理、すべてのコストを削減。収益性の向上に貢献します。

新設・増設・移設が簡易・自在。 太陽光発電の事業化に最適。

優れた費用対効果

さまざまな経営環境の変化に即応する資産運用の機材として低コスト・短工期で導入・ご活用いただけます。

収益に直結する発電量を、パネル傾斜角、敷設密度など全域で最適化した小ユニットにより徹底追及。



省コスト型ハイブリッドFRD架台

FRD SOLAR SYSTEM

効率追求から得た結論、 それは徹底した最適化。

トータルに収益性を追求

休眠資産の有効活用に最適なシンプル&省力化を究めた置き基礎・低・小ユニット設計。太陽光発電の事業化に最適です。

ビジネスとしての太陽光発電、 収益と効率のベストバランスへ。

当社は自社製追尾型架台「FRDソーラーマックス」による実証試験により、太陽光発電所の設置・運営・管理ノウハウの蓄積と詳細な発電データによる追尾型架台の検証を行なってきました。

結果として架台単体レベルでの最高効率が必要とされる設置環境において、追尾型架台の揺るぎない優位性を確認しました。

一方で、近年一気に環境が整った電力買取を前提とした太陽光発電所の場合、追尾型を含む従来の大型架台は初期投資のコストが大きく明らかに不利です。そこで弊社は新環境下のビジネスとして、トータルでの確かな収益性を達成でき、コストに優れた新型架台「ハイブリッドFRD架台」を開発しました。

ハイブリッドFRD架台

敷設地トータルでの収益性を追求

省コスト

発電効率向上

ハイブリッド基礎による 小ユニット化

コンクリート基礎と杭基礎を併用したハイブリッド基礎により省ユニット化を達成

敷設密度の最適化

低・小ユニット化による敷設数拡大で、トータルに発電量を確保

パネル傾斜角の最適化

設置環境にあわせて傾斜角を最適化します。

可動部ゼロのシンプル設計

最小の部材で、必要な強度、耐久性を実現。入手しやすい素材構成により、維持・修繕も容易です。

自由なパネル選定

シンプルを極めた設計により、ソーラーパネルの選定も設置環境と予算規模に応じて自由に行なえます。

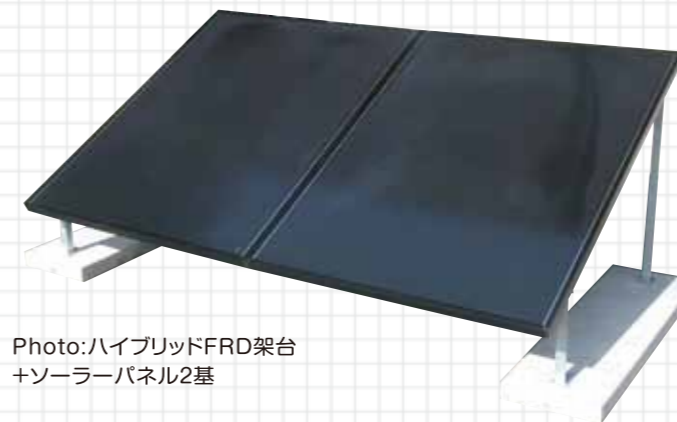


Photo:ハイブリッドFRD架台
+ソーラーパネル2基



Photo:最適敷設されたハイブリッドFRD架台

良好な実証結果

導入施設において十分な発電量を達成。確かな収益性が実証されています。

追尾型架台

架台レベルの最高効率を達成

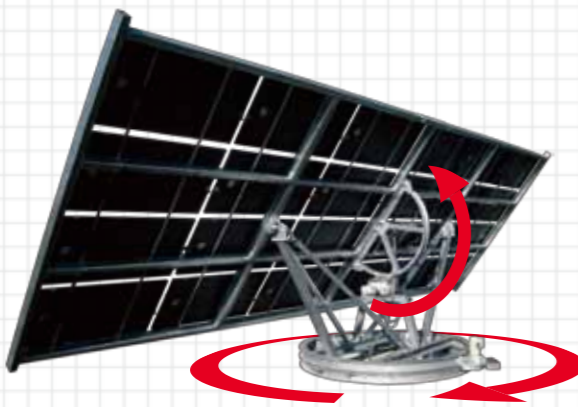
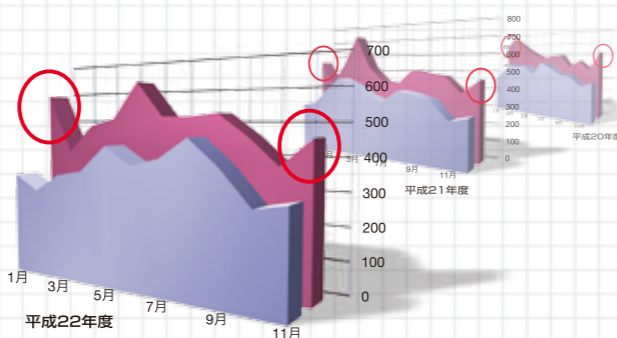


Photo:FRDソーラーマックス

当社はすでに月単位発電量では全国平均比最大2倍に達する追尾型架台の優位性を実証。あわせて様々なノウハウを蓄積してきました。



ハイブリッド基礎による小ユニットだから、 圧倒的省コスト&短工期。

全方位省コスト

架台単体のコストはもちろん、造成・搬入・設置・維持管理、すべてのコストを削減。収益性の向上に貢献します。

変形地、狭小地に対応。 大型架台のデメリットを払拭。

「ハイブリッドFRD架台」は小ユニット化により、各種地形に柔軟に対応しますので、デッドスポットが少なく収益性に優れた設置が実現できます。また敷設工事の全域で小ユニットのもたらす省コスト性が発揮されます。

ハイブリッドFRD架台のメリット ハイブリッド基礎・小ユニット

▶敷設地の地形を選ばない。

変形地・狭小地・傾斜地でも自由に敷設可能です。

▶簡便な造成工事。

芝生・砂利などに敷設可能ですので、造成工事も省コスト。

▶架台の敷設も極めて容易。

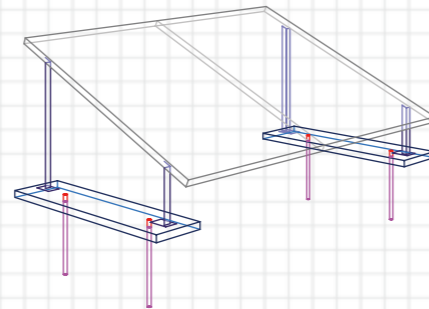
少ない工数で、効率よく敷設できます。

▶日影分析に対応します。

近接建造物等の日影による不採算地点もピンポイントで対策可能。

▶可動部ゼロの信頼性。

架台に起因する故障を徹底排除。管理コストも低減します。

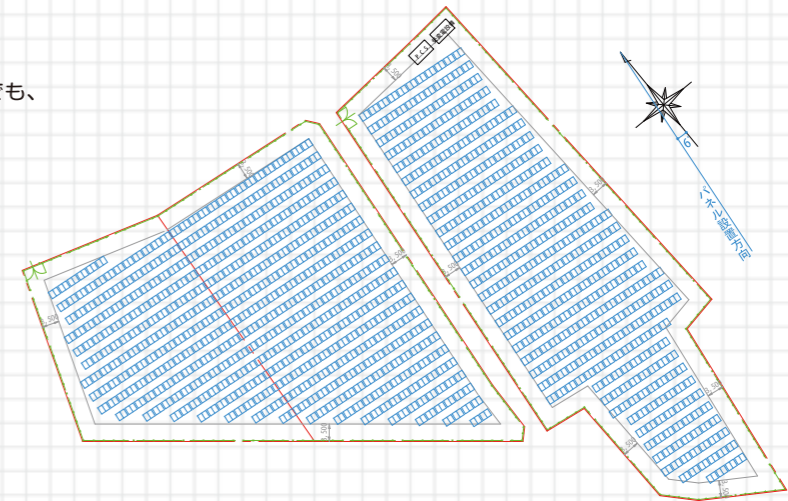


導入例

遊休地の活用

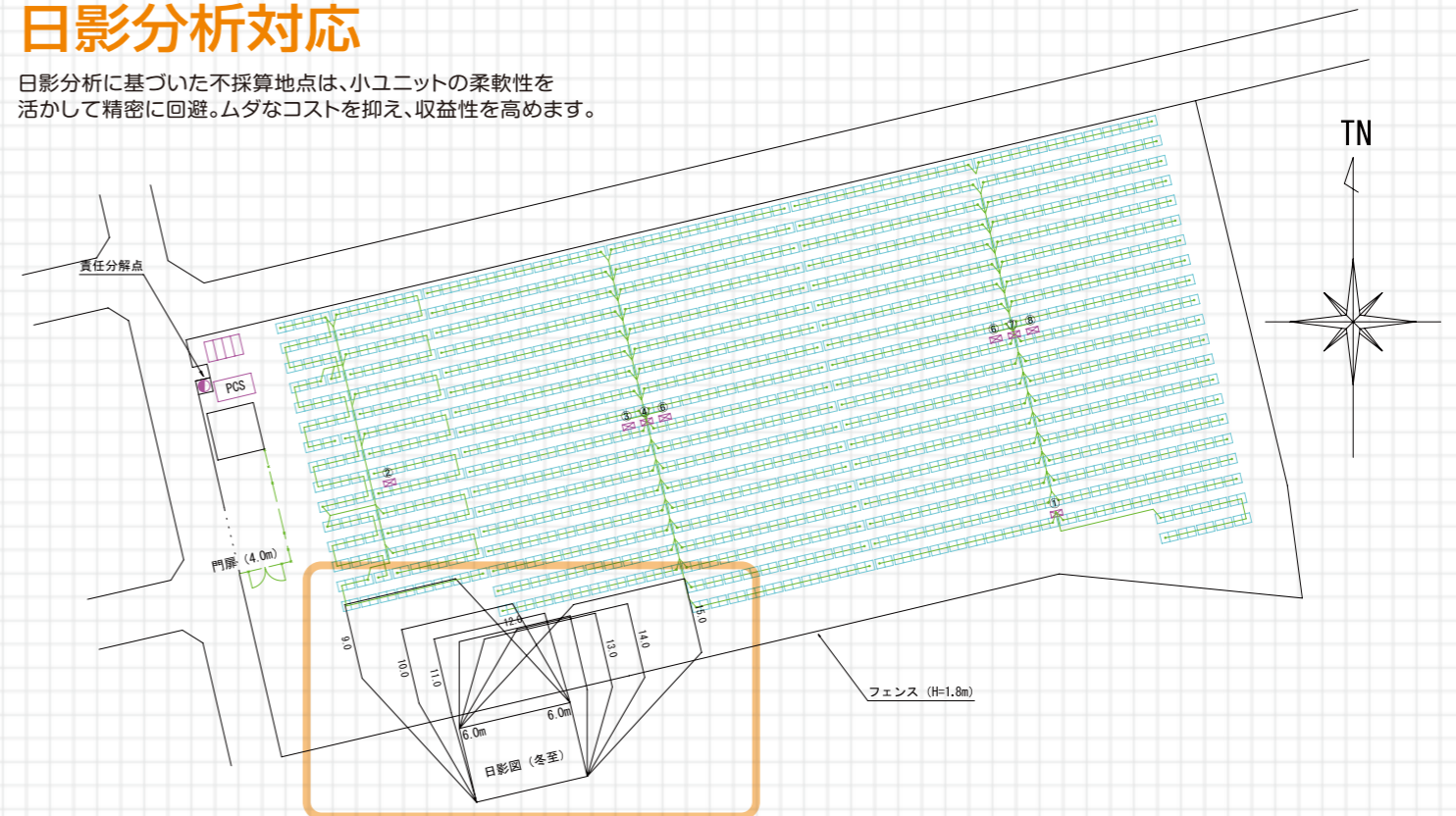
変形地対応

幹線に接しない住宅街・公共施設隣接の変形地でも、ハイブリッドFRD架台なら、短工期・省コストで収益性の高い太陽光発電所を実現します。



日影分析対応

日影分析に基づいた不採算地点は、小ユニットの柔軟性を活かして精密に回避。ムダなコストを抑え、収益性を高めます。



新設・増設・移設が用意・自在。太陽光発電の事業化に最適。

トータルに省コスト&高収益 優れた費用対効果 経営環境の変化に即応する資産運用の機材として低コスト・短工期で導入・ご活用いただけます。